

**平成27年度第2回(通算第26回)POC技術委員会
議事録**

日時： 平成27年10月8日(木)14:00～15:00
場所： パシフィコ横浜313・314号室
報告・ 協議事項
参加者： 〆谷直人、菊池春人、福田篤久、桑克彦、坂本秀生、櫛引健一
小林隆、東野功嗣、岡田健、嶋田昌司(代理:倉村)、山崎家春
山田修、後藤慎一、竹澤 理子、久保田芽里、佐藤寛、大戸秀夫
奥村道之、中尾孝一、弘田浩之、福田滋弘、水戸部晶、奥村淳
吉尾仁美、西沢寛、樋渡亮二、柴田喜久太郎、藤本一満、小花裕二
下村尚平、大久保和弘、奥田優子、岡尚人、渡辺浩、松尾収二
以上、敬称略

**1. 委員会名簿資料1
委員会名簿更新**

2. 新委員と委員交代に関して

新委員： 日本臨床検査技師会より横路委員と岡田委員が加入
委員交代： アイ・エル・ジャパンはニ宗委員から大久保委員へ交代
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクスは渡辺委員から佐藤委員へ交代
空席だった日臨技委員からの委員が復活

3. POCセミナー予定

1) 第55回POCセミナー

主題： 「ここまで出来る・イムノアッセイ法によるPOCT」
日時： 平成27年10月8日(木)18:00～21:00 定員140名
16:00～集合で開催
場所： パシフィコ横浜第V・VI会場(301・302号室)

2) 第56回POCセミナー資料2

主題： 「POCTと品質保証－POCTのリスクマネジメント－」
日時： 平成27年11月22日(日)9:00～12:00定員70名
概要： 第62回日本臨床検査医学会学術集会日本臨床検査医学会との共催セミナー
場所： 長良川国際会議場・岐阜都ホテル

講師:

1「コミュニケーション」山崎家春(公立学校共済組合関東中央病院)

2「機器・試薬管理」竹澤理子(三井記念病院)

3「データ管理」岡尚人(ラジオメーター株式会社)

現状: 10月1日より募集開始し、12名申込みあり

10月8日17:00～ 実習参加関係者による打ち合わせを実施予定

3)第57回POCセミナー資料3

主題: 仮題「POCTと感染症～検体採取から報告まで～」

日時: 平成27年11月7日(土)

概要: 鳥取県臨床検査技師会主催の中四国検査学会のセミナーとし本学会が主催

単位: 日本臨床検査自動化学会は後援としPOCセミナーの単位1単位(総論)を認定

場所: 鳥取県米子市米子コンベンションセンター

担当: 山田委員

企画: 主催者が立案中であり、企画案の確認は未実施

後援依頼:現在、POC技術委員会主催者からの後援依頼を待っており、山田委員が確認

4)第58回POCセミナー(第26回生物試料分析科学会年次集会:那覇市)資料4

主題: POCTの最新の話

日時: 平成28年2月20日(土)21日(日)(詳細は調整中)

場所: 沖縄コンベンションセンター

単位: 座学のみ2単位とする

内容: 最新の話として、検体測定室を中心とし、メ谷委員長が講演を実施

ミニシンポジウムを実施予定、シンポジスト未定

5)平成28年9月:行列のできるスキルアップ研修会にてPOCセミナー開催

開催: 日臨技医学検査学会(神戸)の前日、兵庫県臨床検査技師会主催「行列の出来るシリーズ」にてPOCセミナーを実施予定

日時: 2016年9月3日(土)～4日(日)

場所: 神戸国際会議場

内容: 未定

他: 日臨技、医学検査学会、検査医学会と連続開催のため、例年2回実施していたPOCセミナーを1回とする。

6)第6回POCコーディネータ更新セミナー(第47回大会シンポジウム企画)

主題: 「POCコーディネータの現状と今後の歩むべき姿」

日時： 平成27年10月10日(土)10:00～12:00定員100名

会場： パシフィコ横浜第Ⅱ会場(501号室)

シンポジウム扱いとなり大々的に宣伝されているため、POC更新セミナーであることが薄れた感がある。本日のPOCセミナーで告知を実施し徹底を図る。

4. POCコーディネータ

- POCコーディネータ取得・更新状況
 - 新規7名(POCコーディネータ取得者総数237名) 訂正あり
 - 更新3名

5. 自動化学会学術委員会HP改定(POCセミナーWeb申込)

POC申込みに関してはWeb

- 山田委員と奥田事務局長に自動化学会ホームページの管理者登録がなされた。
- 今後はWeb登録を基本とする方針とし、共催の場合は必要があれば主催者側との話し合いを実施する。
- 共催セミナーにおいて、本システムを使用しない場合は、参加者リストの提出を決まり事とする。

6.POC技術委員会に関する理事会報告

- 4つの委員会は、自動化学会委員会として学会規定に従い運営を実施
- 学術委員会松尾委員長より解説、理事会にて以下の内容の承認を受ける予定

1) 日本臨床検査自動化学会 本大会

謝礼： 非会員は2万円(謝礼、交通費、宿泊費を含む)

趣意書： 本学会理事長名

招聘状； 大会長

チラシ： 来年より印刷しない

プログラム： 教育講演、学術講演、基調講演等の表現はPOCセミナープログラムでは使用しない

2) 共催

謝礼： 主たる学会側のルールに従い、本学会は負担しない

趣意書： 共催学会大会長と本学会理事長名で作成

3) 本件にかかわるその他協議事項

- 企業共催の記載方法に関しては理事会で適宜検討の上決定する
- 共催企画計画書(フォームあり)を提出する、記載内容として費用、単位、企業共済の有無等の記載が必要である
- 本大会企画、共催、後援等の企画計画書は年初(4月)理事会前に提出を目指す
- 共催可否決定は理事会で協議の上決定する
- セミナー資料はホームページに終了後も掲示可能
- 後援の場合、共催の手続きは共催メーカーと後援する学会とで実施する
- 後援を実施する際は、本委員会にて内容の確認を事前に行う必要がある
- 共催に関して意見があるメーカーは事務局へメールで意見を述べる事

7. その他

- 自動化学会として“POCセミナー“の商標登録の検討する
- 「検体測定室」について
臨床検査振興会より厚生労働省へ以下の内容で上申書を提出済、
“精度管理を正しく実施していない検査結果は検査値としての信頼性が乏しい。検体測定室で検査を実施する薬剤師は国家試験の出題基準に”臨床検査の精度管理“について明記されていない。検査値に対する精度管理・保障の教育を受け、正しく理解している臨床検査技師がかかわらない測定は臨床検査として不適である。”
- 第56回セミナーの打ち合わせ結果は山田委員より別途報告
 - 各社実施内容の確認
 - 搬入時間の確認→基本当日搬入、必要があれば前日搬入可
 - 袋詰めは、時間の関係で前日実施する
- 2016年自動化学会企画として、血液検査にかかわるPOCT企画を山崎委員が担当責任者となって企画を提出する予定。血算、凝固等を話題とし、POCにて運用するうえでの現状の課題及び対策をPOCコーディネータと共有する。参加企業予定:フクダ電子/堀場、シスメックス、ベックマン、ラジオメーター、ロシュ、アリア等が候補
- 次回委員会は平成28年5月13日(金)浜松市内にて開催

以上、